



一宮市は、市制施行100周年を迎える2021(令和3)年4月の中核市移行を目指しています。中核市に関するいろいろな情報を紹介します。

第9回 中核市になると、ここが変わる！ 福祉分野①

身体障害者手帳の交付がスピードアップ

現在、手帳の申請受け付けと交付は市が行い、審査・認定と手帳の作成は県が行っています。中核市に移行した後は、市が全ての事務を行います。これにより、申請から交付まで2カ月程度かかっていたのが、早くも3週間程度に短縮されると見込んでいます。



福祉施設へのきめ細かな指導により、質の高いサービスを確保

保育所、障害福祉サービス事業者、介護サービス事業者などの許認可から指導・監査業務までを、市が一元的に行います。市が施設の運営状況を直接、把握することで、福祉サービスの改善や質の向上につなげていくことができます。

【問】中核市移行推進課 ☎(85)7003

地域づくり協議会 活動だより 60

～大徳連区編～

大徳連区地域づくり協議会の活動は平成26年度に発足して、今年度で6年目に入りました。近年は大規模な災害が日本列島を激しく痛めつけています。いざというときのために、平成30年・令和元年度の2カ年計画で提案事業交付金を活用し、防災対策事業を行っています。

防災備蓄品として、非常用飲料水、折りたたみりゃカー、ポータブルトイレ、炊き出し用かまど、ブルーシート、LEDランタンなどを購入し、大徳公民館内倉庫に備蓄しました。また大徳連区の「災害時避難地図(防災マップ)」には、地震時と洪水時に分けて、連区指定緊急避難集合場所、市指定の一時避難場所・避難所を色分けしたものを作成し、各家庭の見やすい場所に掲示するよう全世帯に配布しました。

今年度は、連区指定緊急避難集合場所が一目で分かる、フェンス取り付け用の看板と設置台付きの看板を作製し、防災マップにも掲載した14カ所に設置しました。大徳連区の皆さんは早々に近所の避難場所などを、ぜひとも確認してください。そして日頃から、家族・ご近所・親戚・友人などで緊急時の避難・連絡手段をどのようにするかを話し合い、何としてでも命を守る行動をとるようお願いいたします。

皆さんが住んで良かったと感じられる地域を目指して、今後も活動していきます。



緊急避難集合場所の看板

【問】市民協働課 ☎(28)8954